

日伯新開

果して何人に
此用意ありや

何人もその來ることを好まない
が來ることになつて、願ひれば
千百十八年に大霜がきてから今
年で丁度十年になる、どうやら霜
が來る年である、去年から掛
けて農家では遅然と霜は來はしな
いかと心配して居る、心配はして
居るが珈琲の値がよい爲にツイ玄
感して兎角そんな事は忘れ勝ちで
ある。

吾人は静かにおく地一般の同胞

農家に尋ねて見たい、果して何人

が霜害に對する用意ありやと、恐

らく霜害危險の積立などをして居

者などは一人もあるまい、否霜が

來て珈琲がベチンコにやられ翌年

から立行く者が何人あるであらう

と漫談な考へで仕事を並めて居

これは強ち日本人ばかりでなく

所謂ファゼンディロが皆それで

ある、誠にお目出度い。

大霜來で最も打撃を蒙るのは大

ファゼンディロでなく三三百アカルレス

アルケレスから三百アカルレス

までの中百姓である、素より被害

は一樣にかかるのであるが、空馬

に怪我なし穀と珈琲も植えてない

者は被害と云つても大した事でない

どうにか食つて行けばよいのであ

る、また大ファゼンディロに

至つてはそれ／＼救濟の方法があ

る霜が來て珈琲の參ることは當

に政州政府の痛事であるばかりで

ある、また大ファゼンディロのみ

ノ伯國そのものとつての重大

事であるから政府は極力之を救濟

する、而してその救濟の恩恵にあ

づかる者は大ファゼンディロのみ

ノ中百姓はあづからず。

従つて大霜來によつて最も不利

益な立場におかれ居る者は何人

であるかは誰しも判断に苦しむま

だ、中百姓はあづからず。

従つて大霜來によつて最も不利

益な立場におかれ居る者は何人

(三) 聲聞新伯日和昭四年二月七日

「五」 受難婚 藤村かな子

『ただ懊惱の日が明け暮れした。彼女は今更その重い大きな現實の前にみにくゝも狼狽ひするのだつた。けれども再生の喜びに輝やいて居るその人を何うして再び絶望の底に沈める事が出来やう彼女は自ら聴いた種を刈る可く決心をせねばならなかつた。二三日すると姉は云つた。お葉ちゃん……あなたの金澤さんからなにか云はれはしなかつた？さうしてあなたの氣持はどうなの？本當に子供さへなかつたらあんな申分のない人は無いと思ふんだけれども、でも私、あなたなら屹度出来ると思ふのよ、だつてあなたは景子さん（彼女の従妹）なぞと違つて本當に良い性質なんですもの、そりあさうすればあの方は助かるわ、どう？一つ奮發して行つて上げたら、なんとお葉ちゃん一人助けよ』
『かう云ふともう姉は最後の方は冗談にしてしまつてゐた。九月の新學期が近付いて避暑客の宿んど宿へては引き上げて行つた。葉子もまたそれ等の人に交つて弟の學校のために歸京した。だがもう葉子は昨日迄の葉子ではなくなつた。久し振りに歸つた東京には彼女の目を耳を樂しませることの多いものが在つた筈だつたけれども、彼女の心はもう、それ等のすべてにちつともなぐさめられはしなかつた。

『彼女はただやがて來らんとする運命の前にいたづらに懊惱を重ね呻吟するばかりだつた。彼女は終日悶え苦しんだ。さうして念じた世界の最後がいま來てくれますやうに、それともなにかの一大事が突發して、この結婚が中止されてしまひますやうに——だが彼女の心はちつとも休まりはしなかつた。世界中の總ての人があんな彼女を指さしてゐるやうだつた。後妻、よも、寝ても覺めても彼女の頭をはなれないものは、ただそれだつた。

葉子に少し遅れて金澤氏も見違いるやうな健康体になつて歸つて來た。さうして兄達が歸京するを喜んでゐる彼女の自宅へも、よい／＼遊びに來た。そのうち妻を誇り、さうして詐された事を誇り、さうして詐された

「——」私達二人に取つてやがて見ん
月曜の曙光、曙町とはなんと嬉しい名前ではありますか?」
かうした手紙を受け取つたのもその頃だつた。
十月に入つて或る雨の日金澤氏はかの伊香保以来の親友である山田氏を伴つて遊びに来た。そうして彼女と三人で本郷の若竹へ行つて走いてゐる、銀ブラをやつてゐる男女でさへが、何かを追ひかけられてゐるやうな、又は何者にか迫はれてでもゐるやうな足取り歩いて來た葵子はわざと金澤氏の方へは行かずに山田氏の傘へ入つた
「——」私達二人に取つてやがて見ん
月曜の曙光、曙町とはなんと嬉しい名前ではありますか?」
かうした手紙を受け取つたのもその頃だつた。
何よりも一番不安を感じてゐるのは、とも子供の所へ行くんではない、當人同志がよかつたらそれで金澤氏の喜びはたとへやうもなかつた。
「——」ちあないか子供が何人あるらうとも子供の所へ行くんではない、當人同志がよかつたらそれで金澤氏の喜びはたとへやうもなかつた。
「——」ちやないか」と云ふのだった
兄は金澤氏の申出で聞いても別に反対しやうともしなかつた。
そうして金澤氏の喜びはたとへやうもなかつた。
けれどもそらした人達のもつ通り有性として極めて神經質な几帳面な一方、また思ひ切つて自由な放任な所があつた。
うらうとも子供の所へ行くんではない、當人同志がよかつたらそれで金澤氏の喜びはたとへやうもなかつた。
「——」ちやないか」と云ふのだった
何よりも一番不安を感じてゐるのは、とも子供の所へ行くんではない、當人同志がよかつたらそれで金澤氏の喜びはたとへやうもなかつた。

つては一と筆動かし、二た口飲んでは二行書く、牛砲が鳴る。おのそばのどんぶりが事務所に運ばれる、してはならない事をするやうに、飛行機のフローヘラーの廻りながら電車を待つ人よが、身を切るやうな北風に吹かれながら電車通り列をなしてゐる

六十 ロブンテツセ デ テッセ ゴルラ
四〇八一 話電 市ストンサ

ALFAIATARIA ICHIE

Rua Conde de Sarzedas, 43

タカ 点眼薬
タカ 胃散
タカ 膏薬
ビシノール軟膏
ボリヂアスターゼ
ボリビタミーナ
衛生ハミガキ粉

トロボーム、ハヤリメ、タドレメ、ツカレメ等によ
日本人の体質に合へる信用出来る唯一の胃腸の薬
メン チョウ、ヨウ等すべて痛みあるデキモノの特
グシ薬
土マケ、タムシ、カユミあるデキモノ等皮膚病の特
一時間に三五〇倍の黒粉を消化する世界中で最も強
化剤、肉及び脂肪を消化する酵素も多量に含んでお
病後の回復時、産前産後、亦胸の病氣のある人に必
想的強壯剤、脚氣に特効あるは皆さんの御存じの事
タバコをノム人は是否此の薬用衛生ハミガキ粉を用

【特製調剤】	
アスピリーナ錠	熱サマシ頭痛リ
ユーキニーネ錠	老人、小兒の熱
塗酸キニーネ錠	タマラ痛
クレオソイト合劑	マレーラ痛
ヨヂムチンキ	歯齒痛
◎販賣所	有名な日本人商店及びアルマシア
ミシン會社と取次販賣の しました何程御用命下さ い尙市内御在 住の方には月 賦拂の便宜を お計ひします	病氣にて御コマリの方は病氣の様子をコマカク書いて御 下されば、それぞれ専門の醫師に問ひ合せ御返事致しま
・ユニベルサリ ー里ヨ、綿、野菜類及びバ 目的として砒素と水銀との 合されてあり特にバタチイ 聖市日本帝國總領事館農 場に於て御試験の結果優 秀種芋消毒剤なる事日伯新聞 社實に調製致します	通信病院
ルサル及バアヤー殺虫劑又 報次第進呈	病院
「はバタチイニヤト、マテ其 病虫害に特効あり 一キニア殺虫の速効藥	石井洋服店

ジユキア線便り
紫水
線は今やバナ、熱の高調に達し寄
りだれ位のバナ、が植えられて
るか先づアンナディアイス以西割合
新し地方でバナ、通の話をそ
のは佛入りト一であつた
大よりで居たが、しかし稻の草
も略取りつくしたので雨降りを幸
ひ骨休みには好個の日和、彼處此
處の農家より雨中を流れるシャ
ミの音色はさも又引續きの農年の
米作は初期と異り現今では皆ム
ールに作つて平地や川縫に作つて
あるかの氣持になる。他線では
雨のために稻がどうした、こうし
たと頻りに喰せられるに反し當線
の米作は初期と異り現今では皆ム
ールに作つて平地や川縫に作つて
あるのは殆んど居ないから開花前適
常の雨ごそを欲しい時分であるから
此れ位の雨は少しお過ぎますする
が稻作には害にならない。御園では
昨年見た様な價格さへ維持せばジ
ユキヤ線にも日本人の小成金が叢
生するであらう
◎ボチノ日本資本家がブラジ
ルに着目して投資する者が多くな
つて來たが、その多くは内おく地
のカフエー地帯先住者がモストラ
が去月のカフエー栽培と向つた
谷重綱氏は先輩の捨て、顧みぬジ
ユキヤ線のバナに目をつけ、そ
の栽培の目的でセードロ摩近くに
土地を買入れる相談中であるが、
在住邦人は之が爲に自身が廣くな
つたやうな氣がする、今迄の日本
人は皆腕一本の資本二十年一日の
如く米作と炭焼をやつたけれども
まだ今後何十年か米作と炭焼を練
り返さねばならぬ様に商店主や地主
に得意として珍重がられて居つ
たに過ぎなかつたが今回古谷氏に
よつて日本の資本をジユキアに投する
ので日伯人間に非常な評判だ殊に
同氏は獨逸語であれ、英語、佛語
西語何でも持つて來いの博言博士
であるだけサントスの伯人をアツ
と言はせ今迄日本人と云へば顔色
青ざめ倭小輕快仕事としてはエン
シャーダ引か、野菜賣より外せぬ
ものと大てい相場がきまつて居る
伯人名士は「ジユキア日本人の名
譽と思はれて居たのだから同氏の今
回の渡來は一の奇蹟とでも思つて
居るかも知れない、サントスの一
セドロ在住日本人は其の商談甘
く整ひ一日も早く事業に着手せら
れん事を希望して居る。
◎バナ、市場好況につれジユキア
派らしい約束をした

切株に鉛持たせ想ふ日長哉
捕枝に行手の道を教へけり
夙續く燈臺守の日永哉
アリアンサ陸續書句集
題二接木、日永
石

CASA GONÇALVES

RUA GENERAL CARNEIRO, 53-55
FILIAL 35



鎌鑄製
マントル
三針

五十針レース
マントル二針五百

Rua Paraíso, 127
伯人良家庭、女中
二名至急雇ひたし
(コジネーラ一名及び十二三位
の小使親子なれば好都合)
希望者は左記へ

◇女中入用
希望者は本社へ申出られなし
ビリヤ・マリアンナ
山崎

先づ押して接木もせばや桑の露
柴垣の根に處よ接木哉
同
孤
羊

亡き父と呼び接ぎをせし一日
腕白の遊びかけし日長哉
同
孤
羊

長き日の夕方まで風死ちぬ
永き日を米蒔き暮れしつかれ
同
孤
羊

御料理
うごん

店内改修清潔を旨とし精々勉
強致します何卒舊の御愛顧
を願ひます
コンデ坂上三十三番

あをやぎ
あをやぎ

スチユワート
カミニオン

貳拾五年間の永い経験と研究から生れ
たのが此の貨物自動車です
私の買ひたいのは少なくも五年以上保
つたのでなければなりません
でなければなりません
總代理店

Stewart
コルビシエール
株式會社
ジエ
スチユワート
カミニオン

G. CORBISIER & C. LTDA.
RUA B. DE ITAPETININGA, 67
PHONE: 4-6872

電話番號 一一三七一四

農事通信社

電話新設披露

拜啓 先般來より業務多忙にも不係ず電話工事拂らざりし爲多
大の不便を感じ居り候しが此度新設工事漸く完成致候間紙上を
以て披露申上候

S/A COMPANHIA
- DE -
PRODUCTOS NIPPO BRASILEIROS

日伯物産株式會社

Adubos Fortuna
RUA BOA VISTA NO. 23
Caixa, 1002 - S. Paulo

化學肥料販賣
硫酸アンモニヤ、智利硝石過磷酸石灰、
殺菌剤、調合肥料（バタ、野菜其他）
地質試験、フォルミシード、ベンゾク
レオル類、フォルツーナ肥料製造

Escriptorio "Nippo-Brasileiro"
Av. São João, 85-A 1º andar, sala 12
Caixa Postal, 3730 - Telp. 4-7150 - S. Paulo

目課業
帳簿整理
諸願書手續
譯文和葡
業
公認コンタードール
主任座喜味盛徳
主任厚味直治
支配人座喜味盛章
若月
操
倉庫
北西リソニア
郵函一九二
農產物仲買
雜貨販賣
運送業
宜保寬良

スチユワート
カミニオン

Stewart
コルビシエール
株式會社
ジエ
スチユワート
カミニオン

G. CORBISIER & C. LTDA.
RUA B. DE ITAPETININGA, 67
PHONE: 4-6872

輸入元 中矢商店

郵函一一九九五

ソロカバナ線アルヴァレス・マ
ツシャード驛近接既成日本人大
利米突より十四キロ米突の間
現金にて御講入の方には特別割引あり
アルケールに付六百針より八百
ブルデン市第一公證役場にて閲
スを限り分譲す

</div

水戸黄門

全國漫遊記

(二六) 渡邊迷波

甲「へ、吉兵衛お早よう、今日明日は八王寺の大市、なんでも早いつてよい場所がとりたいもんですねエ」
吉「へエ、佐兵衛さんそうです商人賣するには場所のよいところでなくちや駄目です」と話をしながら丁度百軒長屋のしたを通りかいると武者窓の間から、ブームツと煙が外へ出でるのをみて二人は屹驚仰天。
佐「ヤツ吉兵衛さん大變です。戸様のお長屋から煙がでてゐますよ」
吉「オウ遠へねえ此頃の八景しい御時節に戸様のお長屋内から火を出したといつやとんだ駄目にありますよ、是り早くおしらせ申さなくちやならねえ」と二人の商人は武者窓の下へかけつけてきて、
一「モシ御家中様武者窓から煙が出でますよ早くおしなさいませ」と、らしてくれることとき武者窓の内より
光「ヤア火事はしつてゐる」
二「しつてゐて火事を出す奴がありますか」と云つてをります内にお長屋内よりワツと煙脣に火をつけてバツと外へ放りだすとボーッと一時に火の手は消えあがる
「そりや火事だつたと、喜んでいらせられる、スルト戸戸家お長屋内の人とは外の騒ぎを見てやくも火を消さしておしまひなされて吾が思ふ通りにいつたと、喜んでいらせられる、スルト戸戸家備前守は以ての外のお驚き、この由お目附業へ御届けをする、お目つけよりお付家老の中山備前守殿へ申しあげる、
備前守は先刻御老公様が、好んで、なるだけ汚き長屋に入れてくれと御意遊ばしたは、全く御身に放火をなさると思しがあつたのか之は容易ならざる一大事と早速百軒長屋に來つて見ると黄門光國殿は一向お騒ぎもなさらず平氣なお顔して煙草をバクリバクリ召し上つてあらせられる
備ハッ、御老公様へ伺ひ奉りん事であると、早速御老公中土屋相

光「オ、備前なんぢや、備ハッ、貴方様は何か御粗相で遊びしは致しませんか」
吉「オ、備前、予は眞に申し譲りも遊ばしは致しませんか」
甲「へイ、吉兵衛お早よう、今日は商賣をするには場所のよいところでなくちや駄目です」と話をしなが

いことを致した、先刻其方が申しつけによつて火鉢に火を入れ持つて寄越したそれを前に引き寄抱火をしてあたつてゐる内にイト心持ト其火が坐蒲團へついたなりで彼

の武者窓へ飛火がしたのぢや、備「彼んな所へ坐蒲團に火がついで飛火致しますか」
光「サアそれが前ども仕方ない時節ぢやそれも居て飛火致しますか」
内にどう、武者窓の外へハツと一時に火がした、それが爲に片大

事を引起した、今は是非に及ばんが誤つて、出火したに相違ないのぢやよつて早よこの趣を大公儀へお届けを出せよ」と仰せられたことを聞いて中山備前守は驚いたのであるが併し御父上は何か深い思召され、この件でござりますから、直に内にどう、武者窓の外へハツと一時に火がした、それが爲に片大

事が誤つて、出火したに相違ないのぢやよつて早よこの趣を大公儀へお届けを出せよ」と仰せられたことを聞いて中山備前守は驚いたのであるが併し御父上は何か深い思召され、この件でござりますから、直に内にどう、武者窓の外へハツと一時に火がした、それが爲に片大

事が誤つて、出火したに相違ないのぢやよつて早よこの趣を大公儀へお届けを出せよ」と仰せられたことを聞いて中山備前守は驚いたのであるが併し御父上は何か深い思召され、この件でござりますから、直に内にどう、武者窓の外へハツと一時に火がした、それが爲に片大

事が誤つて、出火したに相違ないのぢやよつて早よこの趣を大公儀へお届けを出せよ」と仰せられたことを聞いて中山備前守は驚いたのであるが併し御父上は何か深い思召され、この件でござりますから、直に内にどう、武者窓の外へハツと一時に火がした、それが爲に片大

事が誤つて、出火したに相違ないのぢやよつて早よこの趣を大公儀へお届けを出せよ」と仰せられたことを聞いて中山備前守は驚いたのであるが併し御父上は何か深い思召され、この件でござりますから、直に内にどう、武者窓の外へハツと一時に火がした、それが爲に片大

事が誤つて、出火したに相違ないのぢやよつて早よこの趣を大公儀へお届けを出せよ」と仰せられたことを聞いて中山備前守は驚いたのであるが併し御父上は何か深い思召され、この件でござりますから、直に内にどう、武者窓の外へハツと一時に火がした、それが爲に片大

日本クラブ定期總會

居たのは如何にも自隠りであつた
會ひに行くやら
來るやら
中島總領事は去六日のサントス丸
でリオ行ベトロボリスに有吉大使
を訪問し、九日頭歸聖の由、黒河
分館主任古關書記生バウル領事館
事務代理中野書記生などは前月末
から今週始めてかけてそれゝ中
島總領事訪問のため出聖
日本クラブ定期
總會
去月三十日リベルダーデの同供樂
部では例年の通り定期總會を催し
出席四十一名委任出席十三名午後
八時から開會大河内幹事長から前
ヨリエラードの場所にて開會する
ノロエステからモヂアナ方面へコ
ロを誘拐に來ることは近頃ます
盛んになり領事館筋ではどう
するこも出来ぬと判るや一層謀
骨に誘拐をやり始めたが最近ノロ
エステ線リス町某雜貨商方のシ
ヨフェー長尾某は某耕主より
依頼によりモヂアナ線サンジョア
キン驛ベローパ耕地に勤いて居
た日本人コロノ三十七名を誘拐し
カミニョンに積んで運び去つた
何様多人數のことではあり殊に家
長どもは何れも耕主並に通譯など
に多大の借錢を持つてるので耕
地側でも捨てはおけず直ちに通
譯林木一悅をして後を追はしめた
ところチエテ河の渡場で追ひ付い
訪へば
コリノ誘か
ノロエステからモヂアナ方面へコ
ロを誘拐に來ることは近頃ます
盛んになり領事館筋ではどう
するこも出来ぬと判るや一層謀
骨に誘拐をやり始めたが最近ノロ
エステ線リス町某雜貨商方のシ
ヨフェー長尾某は某耕主より
依頼によりモヂアナ線サンジョア
キン驛ベローパ耕地に勤いて居
た日本人コロノ三十七名を誘拐し
カミニョンに積んで運び去つた
何様多人數のことではあり殊に家
長どもは何れも耕主並に通譯など
に多大の借錢を持つてので耕
地側でも捨てはおけず直ちに通
譯林木一悅をして後を追はしめた
ところチエテ河の渡場で追ひ付い
訪へば
カバルコと云ふ女で年齢三十四
歳モーカの場末に住んで居た者だ
が罹病と同時に極秘の間に避病院
へ搬入され同所で死んだものである
病院では正直に黄熱病と断定して
居るに拘らず衛生局ではウソをつ
いてをるとて可なり批難的にな
つて居る
ものである、死亡者はフランシス
カ・バルコと云ふ女で年齢三十四
歳モーカの場末に住んで居た者だ
が罹病と同時に極秘の間に避病院
へ搬入され同所で死んだものである
病院では正直に黄熱病と断定して
居るに拘らず衛生局ではウソをつ
いてをるとて可なり批難的にな
つて居る

だから十年も十五年も居てもらひ度いとの熱烈なる希望を述べ、三浦本社長は「私は親の遺言で演説は使ひません、茲に杯を上げて總領事御夫婦の健康を祝します」とアッケないあい拶があつてお開きとなり別室に移つて歎談當夜はムジカのあるところから食後三四組のグンサがあり俄仕込の女子連道樂者の男子連に引廻はされて居たのは愛嬌であつた、因にコンデ方面からは招待されたら行かねば損だとばかり十六七の日本語も碌よらずと。

なつて居たところ其後夫人の病氣も大に快方に赴きいよ／＼去六日

のサンントス丸で歸朝の途についた同日午前十時ルース停車場には同僚館員を始め在聖邦人の主なる者多數の見送りあり折柄リオ行の中島領事夫妻なども同車でブラフ

トホームは日本人の男女で一杯になつた、因に同氏は歸朝後何れ各地を巡回講演させられるだらうから歸任は早くも十月頃になるであ

衛生局自ら隠匿す

數日來聖市に黃熱病が現はれたとの風評があり市民の神經をいら立せて居たが去一日アラサの避病院で死亡したハンガリヤ人こそはどちらやら黃熱病であつたらし衛生局では一も二もなくチバスで死んだのだだと云ひ張つて實を吐かぬが肝心の死亡證明書には明かにファーブレアマレイロと置き敷書いてありジヤルジノアメリカ區戸籍

ナントス近信

後一美

右は在聖市の中なる邦人から選ま
れたものでウソも掛引もないところ
である、尙クラブでは今後一月間
で、第三日曜部員並にその家族
が集つてスキ焼會を催すこととな
った。毎に第一回を去三日催したが
、二十餘名頗る盛會であつた。

▲本年から領事館に昇格する管で
あつた出張所はまたしても豫算を
ケズられて實現するに至らず演口
副領事少からじレてる由▲先月下旬
役員改選をやつた日本人会では
去二十七日演口副領事邸で晩餐會
を催し三十餘名來集懇談を重ねた

などもなくザーティースに入る
や中島領事立つて簡単にあい拶
を述べ古谷重綱氏來賓總代として
輕妙に一席使ひ總領事をほめるや
うな自家廣告のやうな面白い演説
をした後で來賓一同へ黒石時報社
長と三浦本社長とに演説して貰つ
たらよかづて着席黒石時報社長
待つてましたとばかり直ちに立つ
て内十五才開中島領事館より八人

新總領事の招待宴 年度の事業報告あり終つて會計場精三氏から會計報告あり一同異議なしで承認した。それより日本銀行は最近何度も日本人會とやらから迷惑を蒙つておるので其儘突き放したが見込がないので其儘突き放した。他の團体からクラブの會場を貸して然るに誘拐を頼んだ耕地の方でもそんなチケの付いたコロノは要らんと云ひ一同暗黙に迷ふところであつたが多種間耕地の某氏が間に立つて兎も角も何れかへハメ込んだけ、逃亡者中家長に當る藤本直中西末喜、稻崎七藏、中村勉、角助などは何れも熊本縣人なるが今後同縣移民にこんな事件が續出するやうの場合には内地に於て相當嚴重なる制裁を加へる方針だと聞である。

謹啓各位益々御清祥の段欣慶に奉存候陳ば
今般都合上バロン・デ・イタペチニンガの本
店をサンタ・エビジニア街十一Aに移し
候間相變らず御引立の程伏して懇願申上候
移轉廣告
力一ザ 東京
杉本芳之助
Seccão de Venda: Rua Sta. Efigênciia, 11A Tel. 4-6487
Fabrica: Av. Rudge, 35 Tel. 5-5344
Residencia: Rua José Maria Lisboa, 158 Tel. 4-3557
Caixa Postal, 1005 - S. Paulo

奴などとの投稿を載せ、入選者に
は薄謝を呈す
投稿規定
十五字詠六十行以内、匿名は差
支へないが必ず本名を通知する
こと
投稿宛名は必ず『憤火』係りと書
くこと
日伯社
十五六歳位の少年二名募集す
希望の方は申込あれ
勉學の餘暇充分あり
朝日新聞本紙半年
週刊朝日 全二四針
朝日寫眞畫報 全三六針
朝日シネマ雑誌全二二針
が白熱の歓迎を受けてをります
左記代理店又は總代理店へお申込を願ります、そをして本社出版物の讀者諸君に限り今回並びに將來定期的に巡回しまする本社シネマに對し毎回無代入場切符を差し上る事に致します
遠藤商店 日伯物産會社
石川商店 青木商店 副島商店
代田商店 飯田商店

あゝさうですかサンバウロ市だ
ところが、あの蚊はありますとも、能
くゴミタヌのラッカの中に發生
するものです衛生係が来てラッ
カを八ヶ間敷云ふのはその爲め
です氣を付けねばいけません、
云々^{ヨシ}
なほ聖市にこの恐る可き蚊のをる
ことは事實で現にルアコンソラソ
ンの場末に住んでる某氏は自分の
家で捕へたステゴニーヤの雄をビ
ンに入れて持つてをるほどだから
間違ひはない、尙高岡ドクトルの
談にもあるとほりゴミため用のラ
タに氣を付ける外暗い所やしめつ
ぽい所などを一層清潔にしてをく
ことだ

投書募集

今月の本紙から「憤火」を設け
一般讀者の社會的批評と不公平
滿と最も困つた事とケンカラヌ

昨秋母國に於て行はせられた
天皇陛下御即位の莊嚴なる光
景及之に附隨する觀艦式觀兵式
等の雄大なる場面は大阪本社に
於て凡てフィルムに納め一般に
讀者諸君に見せてをりますが今
を伯國在住の内外人にも見せ
致し一は在住邦人の慰安として
他は日伯親善關係に好影響を與
へたく此度本社と協議の上最近
船にて來伯する事になりました
試寫の上聖市を始めおく地各港
道沿線に巡回して在住諸君の御
満足を勝ち得たいと思ひます幸
に弊社の微衷を諒とせられ此際
本社發行各種出版物の御購讀を
賜り度伯國向として特に

法人團社人會日本人トサン

員選舉の結果左の通り當選す
會長　酒寄守
副會長　上原直勝
會計　三吉文人
評議員　小演松助　上原直義　古謝將義　金山喜三郎
中島幸吉　戸田善雄
濱野寅吉　植田清七　吳屋徳盛　野原幸徳
城長次　奥原政益　小淵友市　稻福武二　石川
昌三　玉城弘一　宇榮田加那　外間加那　比
常昌　知念善助　眞境名武太　島袋清左
四郎　宮城清輝　永井寛太郎　坂井貞四郎
那嶺義助　知念福元　小渡良藏　當間重藏
原榮太郎

廣
告

			一、文書係	二名
			一、帳簿係	二名
			一、倉庫係	二名
			一、女店員	三名
			（伯語を解する人）	
女店員は年齢を問はず商業に経験なき農家出の方を歓迎します	リ ン ス 市	郵 国 三 三 九	一、普通店員	三名
滝 谷 商 會	カーザ ヴェルメーリヤ			

井上政
M. KITAMURA
Caixa Postal, 4 - Botucatú

**ESRIPTORIO TECHNICO - AGRICOLA
LUIJI MELAI**
Rua Florencio de Abreu, 3 - São Paulo
Caixa Postal, 2022

絶好の機會

ARMOUR OF BRASIL CORPORATION

FRIGORIFICO S. PAULO

Alameda Cleveland, 34-a - Caixa, "T" - S. Paulo

アルモール會社

CHEVROLET

新古カミヨン
並に乗用自動車の御入用の節は是非
下記まで御申趣下さい。

自動車に充分の経験と智識を持つ小
生ぎ責任を以て御希望に添ふ車を他
より安價に御世話をします、尚各種
附属品も販賣致します、新貨物自動
車御購入の方には長期月賦の便を取
計ひます

トピアス・デ・バーロス會社
代理人 林 岩 松

Jornal Japonez de maior circulação no Brasil
ASSIGNATURAS:
Para o Brasil: 500000
Por semestre: 168000
Para o Exterior: 608000

NIPPAK SHIMBUN

Redação e Oficinas: Rua da Liberdade, 146 - End. Teleg. "NIPPAK" - Caixa Postal, 375 - Teleph. 2-6183

ASSUMPTOS DE HOJE:
Notas e Informações - Notícias do Japão - Imigrantes Japonezes - Movimento Diplomático - Crónicas Mundanas - Últimas notícias do Japão - Folheto de "Nipak"

Director:
SACK MIURA

Anno XV

São Paulo - Quinta-Feira, 7 de Fevereiro de 1929

No. 614

Redactor:
JORGE T. MIDORIKAWA

NOTAS E INFORMAÇÕES

Em trem especial que deixa a "gare" do Norte às 1 e meia horas do sabbado ultimo, regressou ao Rio, sr. dr. Washington Luiz, residente da Republica, ue aqui esteve alguns dias, m visitas e passeios de carácter particular.

*

O sr. presidente do Estado eschaphou hontem com os secretarios da Agricultura e Viação.

*

A produção agrícola, pastoral extraictiva do Brasil orça em 661.700.000\$000. Desta produção exporta 3.000.000\$000. Produz..... 4.000.000 toneladas de algodão e exporta 20.000; arroz 700.000 e exporta 15.000; milho 4.000.000 e exporta 2.000. Desta produção os Estados Unidos compram 40.981.998 sterlinos e toda a Europa, 7.162.351 sterlinos.

*

O sr. dr. Seichiro Nakashima, onçul geral do Japão nesta capital, offereceu na noite de 4 do corrente, no salão do "Terminus lotel", o banquete retribuindo homenagem da colônia japoneza qui domiciliada.

Louças, Artigos Japonezes e Nacionais

K. NISHITANI

IMPORTADOR E EXPORTADOR

Rua Conceição, 88
End. Teleg. NISHITANI

Caixa do Correio, 1134

RIO DE JANEIRO

UM INQUERITO OPPORTUNO

Augmentou consideravelmente, desde poucos annos a esta parte, o numero das companhias e empresas japonezas que funcionam na Republica. Alguns trazem benefícios ao paiz e outros ha que nada lhe offerecerão de util.

Afim de fristar o va-

PHOTO

OTTO STUDIO

TELEPHONE, 2-5400

Rua da Liberdade 70

SÃO PAULO

DO JAPÃO

(Das Nossas Succursaes)

A EMISSÃO DA MOEDA-PAPEL DURANTE O EXERCÍCIO DE 1929

TOKIO, Dezembro de 1928 - É actualmente objecto de estudos minuciosos no ministerio da Fazenda a "quantum" da moeda-papel que vai ser emitida pelo governo do Imperio, durante o exercicio proximo de 1929.

Segundo boatos correntes nos corredores do departamento do Koojimachi-ku, o limite dessa emissão vai ser augmentado de 100 porcento em relação ao do exercicio corrente, que é de 5.000.000 yens.

O SERVIÇO DE CREDITO RURAL

TOKIO, Dezembro de 1928 - O ministerio da Agricultura e Floresta cogita actualmente de organizar, muito breve, serviço mais amplo de credito rural, de modo que todos os pequenos agricultores possam ser atingidos por esta medida benemerita do nosso governo, em socorro á crise geral que reina aquela importante classe.

Ao que se acredita nos mesmos financeiros, os juros do empréstimo aos agricultores não excederão de 6 por cento no anno.

Aliás a providencia é con clamada desde há muito, pois sem a qual era impossivel resolver a situação critica da nossa população rural.

("Nippak")

CAIXAS ECONOMICAS POSTAIS QUE VÃO PERDENDO FREQUEZES...

TOKIO, Dezembro de 1928 - Desde há muito tempo vinha se verificando sensivel diminuição nos depósitos das caixas económicas postais, à medida que aumentava a crise geral em nosso paiz.

Segundo estatística oficial, somente em novembro ultimo verificou-se um decrescimento de 5.000.000 yens, o que significa a severidade da crise que reina em todos os campos da nossa vida financeira.

SEMANA PRÓ-PROLETARIOS

OSAKA, Dezembro de 1928 - Está obtendo elevado numero de adhesões, a iniciativa do jornal "Osaka Asahi", que vai realizar, no salão de conferencias, a semana pró-proletários, que consiste em concertos musicais.

Para este fim já foram contratados 14 musicos dos mais célebres, entre os quais contam vários estrangeiros, executando um programma que consta de 30 peças.

As entradas estão sendo vendidas em quasi todas as casas de musica, cujo produto será distribuido entre as famílias pobres desta cidade.

lhor do que têm feito e estão fazendo no Brasil essas "kaishas", resolvemos abrir um inquerito cujo resultado publicaremos oportunamente.

Edição de 8 páginas

A MECHANISMAÇÃO DA LAVOURA

OSAKA, Dezembro de 1928 - Depois de passar por diversas fases e modificações, afastando os processos rudimentares e manuais, entrou a nossa lavoura na verdadeira phase de mechanisação, o que vai correspondendo aos requisitos da actualidade. Entre outras, temos a aldeia de Anashi, poucas horas desta cidade, onde estivemos ultimamente.

A população agrícola daquela centro, unida, constituiu ultimamente uma verdadeira cooperativa, que visa, não sómente os fins commerciaes, como também a mechanisação dos sistemas da sua lavoura. Como é notorio, este processo é muito economico, não resta duvida, sendo, entretanto, necessário um bom capital para adquirir os machinismos, o que impossibilita cada agricultor terlos em casa.

Constituida, porém, a cooperativa, a aquisição se tornou muito facil, porque para cada família cabia uma pequena quota para se dispor dos objectos tão necessarios quanto systematicos.

Na correspondencia da semana proxima poderei informar mais detalhadamente a respeito.

(Nippak)

O CORREIO E AS BOAS-FESTAS

OSAKA, Dezembro de 1928 - Uma nota sensacional na vida postal dos nossos "urbus" é a permuta da correspondencia no final do principio de cada anno. No anno passado o correio central desta cidade recebeu e distribuiu 1.264.919 objectos contendo cartas, cartões e bilhetes de boas-festas. Este anno, porém, espera-se que tenha um aumento de 20 porcento sobre o numero do anno passado, devido á animação criada em virtude da enthronisação de imperador Hirohito.

O inicio do transito pelo correio de tais objectos ficou marcado para o dia 20 do corrente mes.

Dr. EMPEI KIKUCHI MEDICO

REGISTRO - IGUAPE

DR. S. TAKAOKA MEDICO-OPERADOR

Rua Fagundes, 8 Tel. 2 4190 S. PAULO

Movimento Diplomatico

Em goso de ferias regulamentares, seguiu ao Japão, pelo vapor japonês "Santos Maru" que zarpo hontem do porto de Santos, o sr. dr. Nobutane Egoshi, addido agromônico do consulado geral do Imperio japonês nesta capital, em companhia de sua exma. esposa. S. estará aqui de regresso em outubro proximo.

*

É esperado no proximo dia 11, nesta capital, o sr. Toyoso Kawahashi, consul do Japão junto ao consulado geral daquele Imperio nesta capital.

*

Chegou ao Rio, nos fins do mes p. findo, o sr. dr. Eishiro Nuita, conselheiro da embaixada do Japão junto ao governo brasileiro.

I. SHIOKAWA

UNICO IMPORTADOR DA PORCELLANA MARCA

Noritake

SÃO PAULO
R. Brigadeiro Tobias, 96 e 96-B
TELEPHONE: 4-6387
CAIXA POSTAL 1714
End. Tel. "ELNIPPON"

IMMIGRANTES JAPONEZES

Pelo vapor japonês "Wakasa Maru" que entrou em Santos em 2 do corrente mes, vieram para este Estado 49 famílias compostas de 308 imigrantes japonezes destinados á lavoura. Entre elles, 47 famílias com 286 membros foram contractadas para fazendas cafeeiros no exterior; 1 família com 6 membros para a Colonia Iguape; 13 chamados e 3 independentes. A distribuição das 47 famílias foi feita mais ou menos de acordo com a nossa orientação: a maior parte para as propriedades dos brasileiros e o restante para os japonezes.

Todos os imigrantes são regularmente trajados ao costume occidental e mostram grandes alegrias

Endereço Telegraphico:

"HACHIYA"

Hachiya, Irmãos & Cia.
IMPORTADORES DE LOUÇAS, BRINQUEDOS, ARMARINHO E ARTIGOS JAPONEZES

R. Brigadeiro Tobias, 110
TELEPH. 4-7688
SÃO PAULO
CAIXA POSTAL, 2670

A mercanização hoje em dia tomou um caracter geral em todas as manifestações da vida humana. Nada existe senão em virtude de negocio. Até na vida intima puramente espiritual se manifesta este impulso moderno. Não é censuro, porque ninguém é culpado. É uma tendência natural dos fenomenos sociais, que o seculo presente produziu. E, entre varios outros factos que evidencia este aserto, o que não deixa de causar pequeno cunho de sensação é a transformação que vai sofrer a questão sexual em face da modernização do seu regimen...

*
Nos outros tempos os casamentos politicos nos paizes guerreiros eram frequentes. Hoje, porém, a tendencia é outra. Mercanisaram-se. E não só. Ha até noivados em transacção commercial... Ainda ha pouco tempo, verificou-se num paiz deste Continente, uma medida politica comercial de "noivado": Um pae, desses paes de ambições insaciaveis que só procuram genros ouros, contratará o casamento de uma sua filha com um moço afortunado,

Joe Maddi

"O JAPÃO EM SÃO PAULO"

- FUNDADA EM 1906 -

ARTIGOS JAPONEZES EM GERAL

RUA S. BENTO, 60 - S. PAULO

Telephone: 2-2788

Caixa Postal, 344

pela mudança. Ouvindo um delles, declarou:

- Tivemos uma viagem magnifica durante estes 64 dias que passamos sobre o mar, já porque não encontramos, felizmente, ondas bravias, já porque não houve a bordo nenhuma doença nem symptomata.

- Mas assistiram a uma morte? perguntamos.

- Sim, de facto, morreu uma menina, mas atacada de uma moléstia comun, sem importância.

- Tem coragem de se meter no matto? - arriscamos.

- Temos-as e muito, pois somos lavradores de tradição e não temos medo de trabalhar.

No proximo dia 11 é esperado no vizinho porto de Santos o vapor "Manila Maru" que vem conduzindo 126 famílias compostas de 604 individuos, todas destinadas para a lavoura deste Estado.

Últimas notícias do Japão

Á ultima hora recebemos do nosso correspondente em Tokio o telegramma seguinte: "Divulgamos da fonte fidedigna que o sr. Yoshizawa, representante japonês em Nanking, chegou a ter acordo com o ministro das Relações Exteriores do governo nacionalista da China, sobre o complicado caso de Tsing-Tung, tendo o governo japonês aceito a proposta para evacuar as suas tropas da região de Chan-Tung."

N. da R. - Apparentemente, a cessão do governo japonês exprime, diplomaticamente, uma supremacia do governo nacionalista da China em face da questão.

- Tem coragem de se meter no matto? - arriscamos.

- Temos-as e muito, pois somos lavradores de tradição e não temos medo de trabalhar.

No proximo dia 11 é esperado no vizinho porto de Santos o vapor "Manila Maru" que vem conduzindo 126 famílias compostas de 604 individuos, todas destinadas para a lavoura deste Estado.

região serrana. As aves exóticas que emigraram das longas plagas

annunciavam a chegada desta estação alegre. A crystallina agua das cachoeiras que formava em baixo turbilhões era outra nota

alegre na vida monotona de Humberto, que já se sentia saudoso

daqueles movimentos da Paulicéa, onde residira alguns annos atrás.

Além disso, a retirada de Marilia o deixou tristonho, se bem que do passado ele não queria saber...

- Ela não teve culpa, pensava elle, porque foi obrigada a assim

proceder. O que, entretanto, me causa offensa, é a perfidia do seu marido.

Rapaz sem caracter, picareta, que só cava onde tem metal.

E cavou e acertou o metal. O que resta, creio eu, é dar um ponta-pé

no solo que lhe ofereceu o metal. Cynico! Covarde! Animal!

E para amenisar esta triste recordação, queria ver a lembrança dos

tempo que lhe foram sonhos, a vinha da paz, a vinha do amor...

Mas não a conseguiu. Depois de tres horas de investigações incessantes, elle gritou:

- Cynico! Do passado, eu não quero saber...

FOLHETIM DE "NIPPAK"

VINHETA - RECORDAÇÃO

Collaboração de Jacobi Moggioli

Humberto estava aborrecidissimo por não ter encontrado entre papeladas da caixa de segredo, a carta de Marilia, o unico motivo que lhe proporcionasse uma alegre na vida isolada do sertão paranaíba, onde só se ouve a canção monotonâa das cachoeiras situadas no outeiro da grande serra do Mar. Estava elle bastante nervoso, e causava-lhe ao mesmo tempo muita estranheza, o extravio daquella carta guardada numa caixa que se não achava ao alcance de ninguem a não ser ao seu. Cansado de procurá-la, sentou-se na cadeira de vime e contemplou o céu estrellado, verde como os grandes oceanos.

*

A primavera chegava tambem aos recantos mais sertanejos da